

次世代農業促進生産基盤整備特別対策事業費

予算額 814,000千円（前年度790,134千円）
うち道費 814,000千円（前年度790,134千円）

1 事業の目的

多様な人材が力を発揮し持続可能な本道農業を確立するためには、一層の省力化に向けたスマート農業技術の導入を容易とするほ場の大区画化のほか、付加価値の高い農産物生産を支える農地の排水対策や畑地かんがいの整備、農村地域の強靱化を図る農業水利施設の長寿命化やため池の耐震化など、農業生産基盤の整備促進が必要である。

このため、農業者が必要な整備に積極的に取り組めるよう、道と市町村が連携して農家負担を軽減する特別対策を実施する。

2 事業の内容

道営農業農村整備事業に係る農家負担額を、市町村が一定割合まで軽減する場合、その費用の一部を道が補助する。

○ 対象区分、整備内容、農家負担率及び道の補助割合 (単位：千円)

| 区分 | 整備内容 | 農家負担率 | 補助率 | 予算額 |
|--------|--|-------|-------|----------------------|
| 先進モデル型 | スマート農業技術の効果が最大限発揮されるための区画整理※1、用水施設等の一体的な整備 | 6.5% | 1/2以内 | 814,000 (814,000) |
| 促進型 | 区画整理※1 | 7.5% | | |
| | 畑地用水施設の新設整備※2 | 7.5% | | |
| | 用水施設の新設整備 | 10.0% | | |
| 保全型 | 暗渠排水、土層改良※3 | 10.0% | | |
| | 既設用水施設の長寿命化 | 12.5% | | |
| 防災・減災型 | 防災重点ため池の整備 | 7.5% | | |
| | 既設用水施設の耐震化 排水施設整備 | 10.0% | | |

※1 区画整理と併せ行う暗渠排水、土層改良（客土、除れき）を含む。

※2 畑地に直接散水可能となる整備を対象

※3 心土破碎は対象外

3 事業実施主体

市町村

4 事業実施期間

令和3年度（2021年度）
～令和7年度（2025年度）

負担軽減の概念図

[対策前]

| | | |
|-----|-----|------|
| 国費 | 道費 | 農家負担 |
| 50% | 25% | 25% |

[対策後]

| | | | |
|-----|-----|------------|-----------|
| 国費 | 道費 | <負担軽減> | 農家 |
| 50% | 25% | 18.5～12.5% | 6.5～12.5% |

| | |
|-----|-----|
| 道 | 市町村 |
| 1/2 | 1/2 |

〔担当：農政部農村振興局農村設計課
(内線 27-878)〕

道営土地改良事業費のうち

農地整備事業費

| | | | |
|-------|--------------|------|---------------|
| 予 算 額 | 16,173,433千円 | (前年度 | 13,223,101千円) |
| うち道費 | 4,636,163千円 | (前年度 | 3,470,273千円) |

1 事業の目的

水田地帯において、担い手への農地集積・集約化を図りつつ、生産効率の向上、高収益作物の導入・拡大を進めるため、生産基盤の整備を総合的に実施する。

2 事業の内容

(単位：千円)

| 区 分 | 事 業 内 容 | 補助率 | 予 算 額 |
|---------|---|-----------------------------------|----------------------------|
| 農地整備事業費 | ○農業生産基盤整備事業 ・区画整理、農業用排水施設、 暗渠排水、客土、農道など | 82.5%等 〔国 50% 道 32.5% 等〕 | 16,173,433 (4,636,163) |
| 合 計 | | | 16,173,433 (4,636,163) |

3 事業実施主体

北海道

4 事業実施期間

平成15年度（2003年度）～

〔 担当：農政部農村振興局農地整備課
(内線 27-568) 〕

道営土地改良事業費のうち

水利施設等保全高度化事業費（畑地帯総合整備事業）

| | | | |
|-------|-------------|------|---------------|
| 予 算 額 | 9,948,428千円 | （前年度 | 12,104,911千円） |
| うち道費 | 2,769,593千円 | （前年度 | 3,369,285千円） |

1 事業の目的

畑作・酪農地帯において、農業生産性の向上や農業構造の改善を図るため、生産基盤の整備を総合的に実施する。

2 事業の内容

（単位：千円）

| 区 分 | 事 業 内 容 | 補助率 | 予 算 額 |
|--------------------------|--|---------------------------------|---------------------------|
| 水利施設等保全高度化事業費（畑地帯総合整備事業） | ○農業生産基盤整備事業 ・区画整理、用排水施設、暗渠排水、客土、農道など ○営農環境整備事業 ・営農用水施設など ○農業生産基盤整備附帯事業 ・耕作放棄地解消・発生防止のための簡易な整備など | 80%等 〔 国 52% 道 28% 等 〕 | 9,948,428 (2,769,593) |
| 合 計 | | | 9,948,428 (2,769,593) |

3 事業実施主体

北海道

4 事業実施期間

昭和43年度（1968年度）～

〔 担当：農政部農村振興局農地整備課
（内線 27-572） 〕

道営農用地造成事業費のうち

草地畜産基盤整備事業費（草地整備型）

| | |
|-------|------------------------------|
| 予 算 額 | 4,200,000千円（前年度 3,940,000千円） |
| うち道費 | 1,067,500千円（前年度 1,007,500千円） |

1 事業の目的

自給飼料の低コスト生産や農作業の効率化など、生産性の高い畜産経営の展開を図るため、地域における草地その他の畜産基盤を総合的に整備する。

2 事業の内容

（単位：千円）

| 区 分 | 事 業 内 容 | 補助率 | 予 算 額 |
|------------------------|--|-------------------------------------|--------------------------|
| 草地畜産基盤整備事業費 （草地整備型） | ○実施計画事業 ○基本施設整備事業 ・草地整備改良、関連草地造成改良、草地等の基盤整備改良など ○利用施設整備事業 ・農業用施設整備など | 75.0%等 〔 国 50% 道 25% 等〕 | 4,200,000 (1,067,500) |
| 合 計 | | | 4,200,000 (1,067,500) |

3 事業実施主体

北海道

4 事業実施期間

昭和48年度（1973年度）～

〔 担当：農政部農村振興局農地整備課
（内線 27-579） 〕

農村整備事業費

| | | | |
|------|-------------|------|--------------|
| 予算額 | 1,576,400千円 | (前年度 | 1,615,000千円) |
| うち道費 | 360,104千円 | (前年度 | 274,500千円) |

1 事業の目的

農村の持続性の向上を図るため、農村インフラ施設の状況や地域における役割を点検し、計画的な保全対策、災害対策等の強靱化及び維持管理の効率化、農業生産性の向上のための高度化の実施により、農村に安心して住み続けられる条件の整備と持続性の向上を図る。

2 事業の内容

(単位：千円)

| 区分 | 事業内容 | 補助率 | 予算額 |
|---------|--|-------------------------------------|-------------------------|
| 農村整備事業費 | ○農道・集落道整備事業 ・農道・集落道の整備等 ○営農飲雑用水施設整備事業 ・農産物の洗浄を主体とする営農飲雑用水施設の整備等 | 72.5%等 〔 国 50% 道 22.5% 等 〕 | 1,576,400 (360,604) |
| 合計 | | | 1,576,400 (360,604) |

3 事業実施主体

北海道

4 事業実施期間

令和3年度(2021年度)～

〔 担当：農政部農村振興局農村整備課
(内線 27-603) 〕

農村地域防災減災事業費

| | |
|-------|-----------------------------|
| 予 算 額 | 988,100千円 (前年度 1,725,760千円) |
| うち道費 | 321,240千円 (前年度 523,176千円) |

1 事業の目的

農村地域において、効果的な防災・減災対策を講じるため、農業用施設の整備及び保全を総合的に実施する。

2 事業の内容

(単位：千円)

| 区 分 | 事 業 内 容 | 補助率 | 予算額 |
|-----------------|--|-----------------------------|-----------------------|
| 農村地域防災 減災事業費 | <ul style="list-style-type: none"> ○防災ダム整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ダムの改修 ○防災重点農業用ため池緊急整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ため池の改修、附帯施設の整備等 ○用排水施設等整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・農業用用排水施設等の改修 ○農地保全整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・農業用排水路等の整備及び、農地・用排水路等の機能回復 ○地すべり対策事業 <ul style="list-style-type: none"> ・地下水排除施設等の新設、補修 | 86%等 国 55% 道 31% 等 | 988,100 (321,240) |
| 合 計 | | | 988,100 (321,240) |

3 事業実施主体

北海道、市町村、土地改良区

4 事業実施期間

昭和38年度（1963年度）～

〔 担当：農政部農村振興局農村整備課
(内線 27-625) 〕

農地売買支援事業費

| | |
|------|-------------------------|
| 予算額 | 78,227千円 (前年度 78,774千円) |
| うち道費 | 68千円 (前年度 85千円) |

1 事業の目的

担い手への農用地の集積・集約化を促進するため、農地中間管理機構が規模縮小農家等から買い入れた農用地等を一時貸し付け後に担い手へ売り渡す取組や、農地の現物出資により中核的な担い手の経営体質の強化を図る取組を支援する。

2 事業の内容

(単位：千円)

| 区分 | 事業内容 | 事業実施主体 | 予算額 |
|------------|--|--------------|-----------------|
| 機構 業務費 | ○農地中間管理機構の行う買入れ・売渡し・保有等の業務や事業の推進等に要する経費を補助 【農地売買等事業】 離農・規模縮小農家から農用地等を買入れ、一時貸し付け後に担い手農業者等に売り渡す事業 【法人経営出資育成事業】 農地所有適格法人に対し、農地売買等事業で買い入れた農地の現物出資を行い、法人の経営体質の強化を図る事業 | 農地中間 管理機構 | 78,091 (0) |
| 道指導 推進費 | ○農地売買等支援事業の推進指導等 | 北海道 | 136 (68) |
| 合計 | | | 78,227 (68) |

3 事業実施期間

平成17年度（2005年度）～

〔 担当：農政部農業経営局農業経営課
(内線 27-357) 〕

農地中間管理機構事業費

| | | | |
|------|-----------|------|------------|
| 予算額 | 249,316千円 | (前年度 | 160,575千円) |
| うち道費 | 37,796千円 | (前年度 | 843千円) |

1 事業の目的

農地中間管理機構による農地の集約化等を加速するため、機構の事業運営を補助し、機構による遊休農地の解消等の取組を支援する。

2 事業の内容

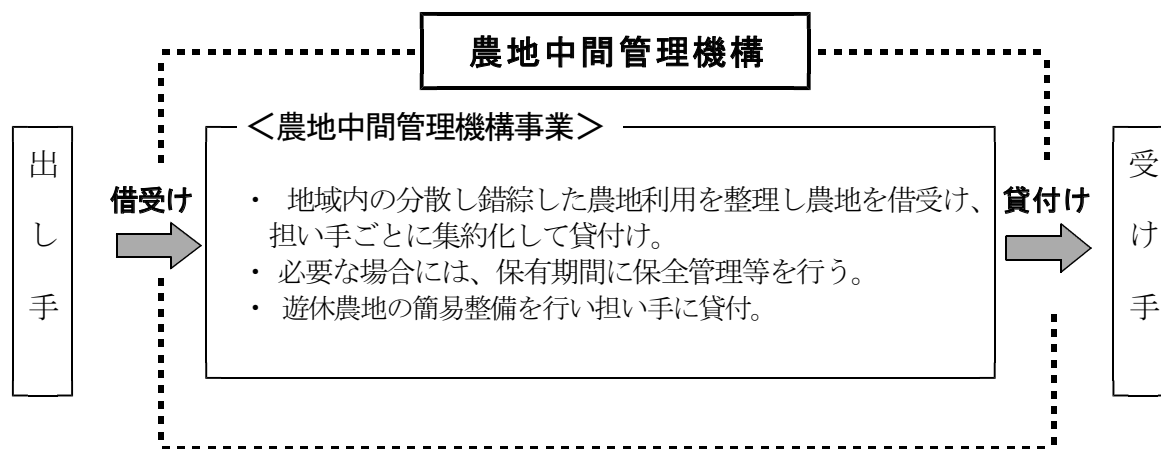
(単位：千円)

| 区分 | 事業内容 | 補助率 | 事業実施主体 | 予算額 |
|---------------------------|--------------------------------------|-----|--------------|---------------------|
| 借受農地 管理等事 業費 | ○農地中間管理機構が借り受けた農地の賃料及び保全管理等に要する経費を補助 | 定額 | 農地中間 管理機構 | 7,152 (843) |
| 遊休農地 解消緊急 対策事業 費 | ○遊休農地解消に向けた簡易整備に要する経費を補助 | | | 12,900 (0) |
| 機構運営 事業費 | ○農地中間管理機構の運営及び業務委託等に要する経費を補助 | | | 225,844 (36,953) |
| 道推進事 業費 | ○農地中間管理事業の推進指導等 | - | 北海道 | 3,420 (0) |
| 合計 | | | | 249,316 (37,796) |

3 事業実施期間

平成26年度（2014年度）～

<農地中間管理機構事業>



〔 担当：農政部農業経営局農業経営課
(内線 27-357) 〕

機構集積協力金交付事業費

| | | | |
|------|----------|------|-----------|
| 予算額 | 38,050千円 | (前年度 | 31,886千円) |
| うち道費 | 0千円 | (前年度 | 0千円) |

1 事業の目的

担い手への農地集積と集約化を推進するため、農地中間管理機構にまとまった農地を貸し付け、担い手への農地集積や農地の集約化に取り組む地域及び、同機構に農地を貸し付け、離農又は経営転換する農業者等に対して機構集積協力金を交付する市町村に補助する。

2 事業の内容

(単位：千円)

| 区分 | 事業内容 | 補助率 | 事業実施主体 | 予算額 |
|---------|---|-----|--------|----------------|
| 協力金の交付等 | <ul style="list-style-type: none"> ○地域集積協力金の交付 <ul style="list-style-type: none"> ・地域における話合いに基づき、農地中間管理機構に一定割合以上のまとまった農地を貸し付けた地域に対して、市町村が協力金を交付 ○集約化奨励金の交付 <ul style="list-style-type: none"> ・農地中間管理機構からの転貸により農地の集約化に取り組む地域に対して、市町村が奨励金を交付 ○経営転換協力金の交付 <ul style="list-style-type: none"> ・農地中間管理機構に農地を貸し付け、離農又は経営転換する農業者等に対して、市町村が経営転換協力金を交付 ○市町村推進事業費 <ul style="list-style-type: none"> ・機構集積協力金の交付事務に要する経費 | 定額 | 市町村 | 37,155 (0) |
| 道推進事業費 | ○機構集積協力金の交付事務、推進指導等 | — | 北海道 | 895 (0) |
| 合計 | | | | 38,050 (0) |

3 事業実施期間

平成26年度（2014年度）～

〔 担当：農政部農業経営局農業経営課
（内線 27-357） 〕

地域計画策定推進緊急対策事業費

| | |
|-------|------------------------|
| 予 算 額 | 33,546千円 (前年度 6,399千円) |
| うち道費 | 0千円 (前年度 0千円) |

1 事業の目的

地域農業の将来の在り方や、目標とする農地利用の姿などを明確化した地域計画の策定に向けた市町村及び農業委員会の取組を支援する。

2 事業の内容

(単位：千円)

| 区 分 | 事 業 内 容 | 補助率 | 事業実施主体 | 予算額 |
|-----------|--|-----|--------------|----------------|
| 市町村等推進事業費 | ○地域の農業者等による協議を踏まえ、地域農業の在り方や、農地利用の姿を明確化した地域計画の策定に向けた市町村及び農業委員会の取組等に要する経費を補助 | 定額 | 市町村 農業委員会 | 32,000 (0) |
| 道推進指導費 | ○市町村等に対する地域計画の策定等に係る助言及び指導 | — | 北海道 | 1,546 (0) |
| 合 計 | | | | 33,546 (0) |

3 事業実施期間

平成24年度（2012年度）～

〔 担当：農政部農業経営局農業経営課
(内線 27-357) 〕

次世代施設園芸普及促進事業費

| | |
|-------|-------------------------|
| 予 算 額 | 20,656千円 (前年度 18,154千円) |
| うち道費 | 0千円 (前年度 0千円) |

1 事業の目的

年間を通じて野菜の計画的かつ安定的な供給に資するため、平成26年（2014年）から28年（2016年）にかけて整備した次世代施設園芸北海道拠点において得られた知見等や環境データを活用した技術改善などについて本道の施設園芸全体に波及させ、生産性の高い施設園芸を推進する。

2 事業の内容

(単位：千円)

| 区 分 | 事 業 内 容 | 事業実施主体 | 予算額 |
|--------------|--|----------------------------------|----------------|
| 次世代施設園芸の地域展開 | ○検討会議等の開催 ○フォーラム等の開催 ○先進事例等の調査 ○パンフレット等を活用した情報発信等 | 北海道 北海道次世代施設園芸地域展開 コンソーシアム | 20,656 (0) |
| | ○地域段階での実証等による支援 ・環境制御や作業管理等の技術習得に必要な体制づくり ・既存ハウスのリノベーション | 地域協議会等 ※北海道及び農業者等の参画が必須 | |
| 合 計 | | | 20,656 (0) |

3 事業実施期間

平成29年度（2017年度）～令和5年度（2023年度）

担当：農政部生産振興局農産振興課
(内線 27-730)

普及活動推進事業費

| | |
|------|-------------------------|
| 予算額 | 65,273千円(前年度 520,587千円) |
| うち道費 | 44,699千円(前年度 45,580千円) |

1 事業の目的

本道農業の有利性を最大限に発揮し、高品質で安全・安心な農畜産物を安定供給するとともに、農業の6次産業化の推進など、地域の関係者と連携した農業・農村の活性化を図るため、地域ニーズに対応した普及活動や農作物の生育状況に応じた営農技術対策の発信、技術支援会議の活動など試験研究機関と連携した取組を実施するほか、普及指導員の資質向上のための研修を行う。

また、地域農業の課題解決に向け、北海道立総合研究機構農業研究本部と連携して、技術の体系化や普及など円滑な地域支援活動を実施するほか、農業の担い手のほぼ全てが先端技術を活用した農業に取り組むことができるよう、スマート農業の実証やスマート農業相談窓口などを活用し、スマート農業技術導入の加速化を図る。

2 事業の内容

(単位：千円)

| 区分 | 事業内容 | 事業実施主体 | 予算額 |
|----------------------|--|--------|--------------------|
| 協同農業普及事業推進指導費 | ○巡回指導等、地域ニーズに対応した普及活動 ○普及指導員の調査研究活動 ○農作物の生育に応じた営農技術対策の発信 ○技術支援会議の活動等、試験研究機関と連携した地域支援 ○高度で幅広い技術や専門的な知識を有する普及指導員を養成するための研修 | 北海道 | 29,056 (24,307) |
| 専門技術員活動高度化事業費 | ○道総研農業研究本部に在勤する普及指導員の活動推進及び機材整備 | 北海道 | 10,346 (8,263) |
| 農業情報普及システム推進事業費 | ○農業情報ネットワークシステム関連情報機器の維持・管理 | 北海道 | 14,013 (11,784) |
| 研究連携課題解決支援事業費 | ○道総研等と農業改良普及センターが連携して行う技術の体系化活動を共同事業として実施 | 北海道 | 7,670 (345) |
| スマート農業加速化実証プロジェクト事業費 | ○スマート実証農場の整備・実証を行うコンソーシアムの活動を支援 | 北海道 | 4,188 (0) |
| 合計 | | | 65,273 (44,699) |

3 事業実施期間

昭和47年度（1972年度）～

〔担当：農政部生産振興局技術普及課〕
(内線 27-804、27-808)

スマート農業総合推進事業費

| | |
|-------|---------------------------|
| 予 算 額 | 30,762千円 (前年度1,001,792千円) |
| うち道費 | 5,751千円 (前年度 6,515千円) |

1 事業の目的

生産現場への着実なスマート農業技術の導入と全道への普及拡大を図るため、各地の実証成果や活用事例の情報収集と提供、専門的知識を有する地域人材の育成等とともに、地域の営農体系に適した先端技術の導入を支援する。

2 事業の内容

(単位：千円)

| 区 分 | 事 業 内 容 | 補助率 | 事業実施主体 | 事業実施期間 | 予算額 |
|----------------------------|--|-----|--------|---|--------------------|
| スマート農業推進事業費 ※1 | ○推進会議等開催 ○技術導入効果検討 ○普及促進 ○地域指導人材等育成 | — | 北海道 | R 2年度 (2020年度) ～ R 6年度 (2024年度) | 8,141 (4,848) |
| スマート農業加速化実証プロジェクト事業費 ※2 | ○スマート実証農場の整備・実証を行うコンソーシアムの活動支援 | — | 北海道 | R 4年度 (2022年度) ～ R 6年度 (2024年度) | 4,188 (0) |
| ICT活用型草地管理普及促進事業費 ※3 | ○実証事業追跡調査 ○実用化検証等 ○優良事例調査 ○情報発信 | — | 北海道 | R 4年度 (2022年度) ～ R 6年度 (2024年度) | 903 (903) |
| ICT活用種馬鈴しょ生産実証事業費 ※4 | ○病株抜き取り作業の負担軽減に向けた実証事業 | — | 北海道 | R 4年度 (2022年度) ～ | 17,530 (0) |
| 合 計 | | | | | 30,762 (5,751) |

- ※1 地方創生対策推進費
- ※2 「普及活動推進事業費」で計上
- ※3 「畜産総合振興対策事業費」で計上
- ※4 「畑作物生産改善対策費」で計上

(担当：農政部生産振興局技術普及課 (内線27-808)
農産振興課 (内線27-720)
畜産振興課 (内線27-757))

スマート農業推進事業費

| | |
|------|----------------------|
| 予算額 | 8,141千円(前年度 8,169千円) |
| うち道費 | 4,848千円(前年度 5,387千円) |

1 事業の目的

生産現場への着実なスマート農業技術の導入と全道への普及拡大を図るため、各地の実証成果や活用事例の情報収集と提供、専門的知識を有する地域人材の育成、地域の営農体系に適した先端技術の導入支援等を行う。

2 事業の内容

(単位：千円)

| 区分 | 事業内容 | 予算額 |
|-----------------|--|------------------|
| スマート農業 推進事業費 | <ul style="list-style-type: none"> ○スマート農業の総合的な推進及び企画等 ○幅広い分野における先端技術の事例調査及び導入検討 ○スマート農業技術の社会実装化を推進するセミナー等の開催 ○人材育成（指導者養成、担い手等の学習機会提供、女性の活躍支援） | 8,141 (4,848) |
| 合計 | | 8,141 (4,848) |

※地方創生対策推進費

3 事業実施主体

北海道

4 事業実施期間

令和2年度（2020年度）～令和6年度（2024年度）

〔 担当：農政部生産振興局技術普及課
（内線27-808） 〕

スマート農業加速化実証プロジェクト事業費

| | | |
|------|-------------|----------|
| 予算額 | 4,188千円(前年度 | 4,188千円) |
| うち道費 | 0千円(前年度 | 0千円) |

1 事業の目的

技術発展の著しいロボット・AI・IoT等の先端技術を活用した「スマート農業」の社会実装を加速化するため、先端技術を生産から出荷まで一貫した体系として速やかに現場に導入・実証する取組等を支援する。

2 事業の内容

(単位：千円)

| 区分 | 事業内容 | 予算額 |
|----------------------------------|-------------------------------------|---------------|
| スマート農業 加速化実証プロ ジェクト事業 費 | ○スマート実証農場の整備・実証を行うコンソー シアムの活動を支援 | 4,188 (0) |
| 合計 | | 4,188 (0) |

3 事業実施主体

北海道

4 事業実施期間

令和4年度(2022年度)～令和6年度(2024年度)

〔担当：農政部生産振興局技術普及課
(内線27-808)〕

I C T 活用型草地管理普及促進事業費

| | |
|-------|---------------------|
| 予 算 額 | 903千円 (前年度 1,128千円) |
| うち道費 | 903千円 (前年度 1,128千円) |

1 事業の目的

実用化可能な段階となった I C T 機器を活用した草地（牧草）管理技術に対する理解促進のため、生産者へPR等を行う。

2 事業の内容

(単位：千円)

| 区 分 | 事 業 内 容 | 予算額 |
|--------------|----------------------|---------------|
| 実証事業 追跡調査 | ○過年度実証地区の経年データ収集・分析 | 356 (356) |
| 実用化検証等 | ○現地体験会等の開催 | 547 (547) |
| 優良事例調査 | ○新技術の取組事例の調査・普及 | |
| 情報発信 | ○会議等における取組事例の最新情報の提供 | |
| 合 計 | | 903 (903) |

※「畜産総合振興対策事業費」で計上

3 事業実施主体

北海道

4 事業実施期間

令和 4 年度（2022年度）～令和 6 年度（2024年度）

（ 担当：農政部生産振興局畜産振興課
（内線27-757） ）

ICT活用種馬鈴しょ生産実証事業費

| | | | |
|------|----------|-------|----------|
| 予算額 | 17,530千円 | (前年度) | 17,530千円 |
| うち道費 | 0千円 | (前年度) | 0千円 |

1 事業の目的

全国一の生産を誇る馬鈴しょは、畑作農業の経営規模の拡大に伴う労働負担の増大などにより、作付面積が減少傾向にある。特に種馬鈴しょは、植物防疫法に基づく検査が義務づけられていることから、種馬鈴しょ生産における病株抜き取り作業の負担軽減を図るため、ICTを活用した生産技術を実証する取組を支援する。

2 事業の内容

(単位：千円)

| 区分 | 事業内容 | 補助率 | 予算額 |
|-----------------------|---|-----|----------------|
| 病株抜き取り作業の負担軽減に向けた実証事業 | ○病株・生理障害株の写真・映像データ収集 ○病株のAI判定に係る精度向上のための技術実証 ○従来の目視確認による抜き取り回数等のデータ集計(モニタリング調査) ○取組計画や進捗、実績等の検討・検証 | 定額 | 17,530 (0) |
| 合計 | | | 17,530 (0) |

3 事業実施主体

市町村、農業者の組織する団体、農業者等で構成するコンソーシアム等

4 事業実施期間

令和4年度(2022年度)～

担当：農政部生産振興局農産振興課
(内線27-720)

情報通信環境整備対策事業費

| | | | |
|------|-----------|------|------------|
| 予算額 | 190,000千円 | (前年度 | 295,000千円) |
| うち道費 | 0千円 | (前年度 | 0千円) |

1 事業の目的

農村地域における農業農村インフラの管理の省力化・高度化やスマート農業の実装を図るとともに、地域活性化を促進するため情報通信環境の整備を支援する。

2 事業の内容

(単位：千円)

| 区分 | 事業内容 | 補助率 | 予算額 |
|--------|-------------------------|------|-----------------|
| 計画策定事業 | ○情報通信環境整備に必要な調査、整備計画の策定 | 定額 | 155,000 (0) |
| 施設整備事業 | ○光ファイバ、無線基地局等の整備 | 50%等 | 35,000 (0) |
| 合計 | | | 190,000 (0) |

3 事業実施主体

市町村、土地改良区、農業協同組合等

4 事業実施期間

令和3年度(2021年度)～

〔担当：農政部農村振興局農村計画課(内線27-404)
農村整備課(内線27-603)〕

食の安全・安心推進費

| | | | |
|-------|---------|------|----------|
| 予 算 額 | 2,813千円 | (前年度 | 2,993千円) |
| うち道費 | 2,813千円 | (前年度 | 2,993千円) |

1 事業の目的

道民の健康の保護並びに消費者に信頼される安全で安心な食品の生産及び供給に資するため、食の安全・安心の確保に関する各種施策を総合的に推進する。

2 事業の内容

(単位：千円)

| 区 分 | 事 業 内 容 | 事業実施期間 | 予算額 |
|----------------------|---|------------------------|------------------|
| 食の安全・安心 条 例 推 進 費 | ○食の安全・安心委員会の運営 ○食のリスクコミュニケーションの開催 ○食の安全・安心委員会専門部会の運営 ○遺伝子組換え作物モニタリング検証 | H17年度 (2005年度) ～ | 2,026 (2,026) |
| | ○食の安全・安心調査検討費 | H20年度 (2008年度) ～ | 363 (363) |
| きらりっぷ普及 拡 大 事 業 費 | ○制度の円滑な運営と認証基準の検討 | H25年度 (2013年度) ～ | 266 (266) |
| 道産食品全国 モニター運営費 | ○道産食品全国モニターの委嘱 ○表示状況調査 ○違反事例に係る協議 | H17年度 (2005年度) ～ | 158 (158) |
| 合 計 | | | 2,813 (2,813) |

3 事業実施主体

北海道

〔 担当：農政部食の安全推進局食品政策課
(内線 27-653) 〕

食の安全・安心条例推進費

| | |
|-------|-----------------------|
| 予 算 額 | 2,389千円 (前年度 2,463千円) |
| うち道費 | 2,389千円 (前年度 2,463千円) |

1 事業の目的

北海道食の安全・安心条例に基づき、学識経験者、消費者及び生産者等を構成員とする「北海道食の安全・安心委員会」を道の附属機関として設置し、道民の意見を踏まえ、食の安全・安心の確保に関する取組を積極的に推進する。

2 事業の内容

(単位：千円)

| 区 分 | 事 業 内 容 | 事業実施期間 | 予算額 |
|-------------------|--|------------------------|------------------|
| 食の安全・安心委員会運営費 | ○食の安全・安心委員会の設置・運営 ・調査審議内容 ①食の安全・安心に係る道の施策 ②リスクコミュニケーションのテーマ ③遺伝子組換え作物栽培計画等の調査審議 ④食の安全・安心の確保に関する重要事項 | H17年度 (2005年度) ～ | 1,050 (1,050) |
| 食のリスクコミュニケーション開催費 | ○食のリスクコミュニケーションの開催 ・食の安全・安心に係るテーマについて、情報提供や意見交換を実施 | | 190 (190) |
| 食の安全・安心委員会専門部会運営費 | ○食の安全・安心委員会専門部会の設置・運営 ・調査審議内容 遺伝子組換え作物栽培計画に係る調査審議等 | | 353 (353) |
| 遺伝子組換え作物モニタリング検証費 | ○遺伝子組換え作物栽培者のほ場及び周辺における現地調査 | | 433 (433) |
| 食の安全・安心調査検討費 | ○食の安全・安心の確保に関する調査・検討 | H20年度 (2008年度) ～ | 363 (363) |
| 合 計 | | | 2,389 (2,389) |

3 事業実施主体

北海道

〔 担当：農政部食の安全推進局食品政策課
(内線 27-653) 〕

道産食品全国モニター運営費

| | | | |
|------|-------|------|--------|
| 予算額 | 158千円 | (前年度 | 197千円) |
| うち道費 | 158千円 | (前年度 | 197千円) |

1 事業の目的

食品表示の適正化に向け、道内では消費生活モニターや道による表示の検査監視が行われているが、都府県における道産食品の表示のチェックや意見等を受け付ける道産食品全国モニターを全国の都府県に配置し、消費者に信頼される道産食品の生産、流通と北海道ブランドの向上を推進する。

2 事業の内容

(単位：千円)

| 区 分 | 事 業 内 容 | 予算額 |
|-----------|--|--------------|
| 表示状況調査 | ○道産食品全国モニターの委嘱 ・全国各都府県に配置 ・各都府県在住の一般消費者 (46都府県×1名=46名) 原則として、前年度に選定したモニターに継続して委嘱 | 158 (158) |
| | ○表示状況調査 ・年3回一斉調査(対象品目やチェック項目等を道が定め集中監視) ・その他日常調査等 | |
| 違反事例に係る協議 | ○違反事例に係る協議 ・店舗の流通規模に応じて、各県表示担当や国へ任意調査や立入検査を依頼 | |
| 合 計 | | 158 (158) |

3 事業実施主体

北海道

4 事業実施期間

平成17年度(2005年度)～

(担当：農政部食の安全推進局食品政策課
(内線 27-653))

農業生産総合対策事業費のうち

農産物検査指導監督等推進費

| | |
|-------|-----------------------|
| 予 算 額 | 1,582千円 (前年度 1,627千円) |
| うち道費 | 1,578千円 (前年度 1,627千円) |

1 事業の目的

農産物検査法に基づき、地域登録検査機関の登録事務や立入調査等の指導監督を行い、農産物検査の適正かつ円滑な実施を確保する。

2 事業の内容

(単位：千円)

| 区 分 | 事 業 内 容 | 予算額 |
|-------------------|--|------------------|
| 農産物検査指導監督等 推進費 | ○巡回立入調査・指導 ○疑義案件に係る立入調査 ○登録検査機関の登録・変更・更新 | 1,582 (1,578) |
| 合 計 | | 1,582 (1,578) |

3 事業実施主体

北海道

4 事業実施期間

平成28年度（2016年度）～

担当：農政部生産振興局農産振興課
(内線 27-729)

農業生産資材安全使用等総合推進事業費

| | |
|------|------------------------|
| 予算額 | 11,501千円(前年度 12,812千円) |
| うち道費 | 740千円(前年度 844千円) |

1 事業の目的

生産資材（農薬、肥料）の適正な流通及び使用を確保するため、関係者に対する研修や資料配付により啓発指導を行うとともに、関係法令に基づく指導・取締り等を行う。

2 事業の内容

(単位：千円)

| 区 分 | 事 業 内 容 | 補助率 | 事業実施主体 | 予算額 |
|-------------------|-------------------------------|-----------|--------------------|------------------|
| 農薬安全使用等総合推進事業費 | | | | 10,596 (273) |
| 農薬適正流通確保対策事業 | ○農薬指導士認定研修の実施 ○販売業者等への立入検査 | — | 北海道 | 138 (68) |
| 農薬適正使用推進事業 | ○指導資料等の作成 ○研修や巡回指導の実施 | — | 北海道 | 410 (205) |
| 農薬適正使用推進事業費補助金 | ○マイナー作物農薬残留確認調査等に対する支援 | 1/2 以内 | 農業団体等 | 3,500 (0) |
| ヘパタクロル残留等対策事業費補助金 | ○作付予定ほ場及び出荷前のかぼちゃの残留分析 | 1/2 以内 | 農業団体 | 6,548 (0) |
| 農業生産資材安全利用対策事業費 | | | | 905 (467) |
| 肥料検査費 | ○肥料の登録・検査 ○立入検査の実施 | — | 北海道 | 438 (0) |
| 農業生産体制保安対策事業 | ○農作業安全啓発運動の推進 | 1/2 以内 | 北海道、北海道農作業安全運動推進本部 | 467 (467) |
| 合 計 | | | | 11,501 (740) |

3 事業実施期間

昭和25年度（1950年度）～

〔担当：農政部生産振興局技術普及課（内線 27-838、27-840）
食の安全推進局食品政策課（内線 27-695）〕

国際水準GAP実践拡大推進事業費

| | | | |
|------|----------|------|-----------|
| 予算額 | 32,010千円 | (前年度 | 30,887千円) |
| うち道費 | 0千円 | (前年度 | 0千円) |

1 事業の目的

農業の持続可能性を高める国際水準GAPの実践やGAP農産物の需要を拡大するため、農業者向け研修会の開催や指導者の育成等による指導体制を充実・強化し、実需者に対しセミナーを開催するとともに、農業教育機関及び環境負荷低減に取り組む農業者団体等の認証取得への支援を行う。

GAP（農業生産工程管理）[Good Agricultural Practices]

農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組で、「工程管理に基づく品質保証」の考え方を農業現場に応用し、食品事故などの問題を農場が起こさないよう未然に防ぐ農場管理の手法。

GAPの実践は、食品事業者等の信頼を確保する上でも有効な手法となるほか、生産管理の向上、効率性の向上、農業者自身や従業員の経営意識の向上につながるといった効果がある。

2 事業の内容

(単位：千円)

| 区分 | 事業内容 | 事業実施主体 | 予算額 |
|--------|---|--------|----------------|
| 指導体制整備 | ○GAP指導者育成研修の実施 | 北海道 | 9,298 (0) |
| 普及推進 | ○GAP実践モデル事例を活用した推進 ○農業者向け項目別実践研修及びGAPセミナーの実施 ○実需に関するセミナーの開催 | 北海道 | 13,712 (0) |
| 認証取得支援 | ○農業教育機関、農業者及び農業者団体の認証取得費用支援 | 農業者等 | 9,000 (0) |
| 合計 | | | 32,010 (0) |

3 事業実施期間

令和3年度(2021年度)～令和5年度(2023年度)

〔 担当：農政部食の安全推進局食品政策課
(内線 27-664) 〕

米産地育成総合対策事業費

| | |
|------|-------------------------|
| 予算額 | 21,441千円 (前年度 59,911千円) |
| うち道費 | 21,441千円 (前年度 15,034千円) |

1 事業の目的

本道稲作農業の持続的な発展と経営の安定を図るため、北海道米の道内食率維持と消費拡大、農家戸数が減少する中での生産力維持に向けた直播向け品種の導入や省力化技術の推進、食糧法に基づく立入検査や米穀取扱業者等へのトレーサビリティ制度の遵守事項に係る指導などのほか、道産酒米の生産振興や道産日本酒のブランド力強化、米粉の利用拡大など、生産、流通及び消費の各般にわたる総合的な対策を講ずる。

2 事業の内容

(単位：千円)

| 区分 | 事業内容 | 補助率 | 事業実施主体 | 事業実施期間 | 予算額 |
|----------------------------|---|--------------------|----------------------------|---|--------------------|
| 水田農業 元気づくり 推進事業費 | ○米麦生産技術講習会・研修会の開催 ○生産技術対策パンフレットの作成 | 1/2 以内 | (一社)北海道 農産協会 | H25年度 (2013年度) ～ | 857 (857) |
| ごはん食拡大・米産地 づくり推進 事業費 | ○北海道米の消費拡大 ・北海道米食率向上戦略会議の開催 ・北海道米プロモーションの実施 ・ごはん食伝道師活動への支援 | — 1/2 以内 | 北海道 北海道米販売 拡大委員会 | R 3 年度 (2021年度) ～ | 3,254 (3,254) |
| | ○省力化の取組推進 ・検討会議、技術研修会の開催 ・直播向け品種（えみまる）の栽培 技術指導 | — | 北海道 | | |
| 米流通対策 指導事業費 | ○米トレサ法対策費 ・立入検査の実施、制度遵守に係る 指導等 ○米穀事業者遵守事項対策費 ・立入検査の実施 | — | 北海道 | H22年度 (2010年度) ～ | 713 (713) |
| 米どころ・ 酒どころ 振興事業費 | ○道産酒米の生産振興 ・酒米品種開発の加速化 ・高品質な酒米の安定生産 ○道産日本酒のブランド力強化 ・道産日本酒のブランド確立 ・道産酒米を使った日本酒の販路 拡大 | — | 北海道 | R 2 年度 (2020年度) ～ R 5 年度 (2023年度) | 12,117 (12,117) |
| 米粉利用拡大 対策推進 事業費 | ○米粉フェアの開催 ・実需者向け講演会 ・消費者向け料理教室等 | — | 北海道 | R 5 年度 (2023年度) | 4,500 (4,500) |
| 合 計 | | | | | 21,441 (21,441) |

担当：農政部生産振興局農産振興課
(内線 27-724)

ごはん食拡大・米産地づくり推進事業費

| | |
|-------|-----------------------|
| 予 算 額 | 3,254千円 (前年度 3,733千円) |
| うち道費 | 3,254千円 (前年度 3,733千円) |

1 事業の目的

人口減少等による米消費の減少が見込まれる中、北海道米の高い水準での道内食率を維持し、業務需要の掘り下げ等による更なる消費拡大運動を展開するとともに、農家戸数が減少する中での生産力維持に向け、直播向け品種の導入や省力化技術等を推進する。

2 事業の内容

(単位：千円)

| 区 分 | 事 業 内 容 | 補助率等 | 事業実施主体 | 予 算 額 |
|-----------|---|-----------|-------------|------------------|
| 北海道米の消費拡大 | ○北海道米食率向上戦略会議の開催 ○北海道米プロモーション活動の実施 ○ごはん食伝道師活動への支援 | — | 北海道 | 2,906 (2,906) |
| | | 1/2 以内 | 北海道米販売拡大委員会 | |
| 省力化の取組推進 | ○低コスト・省力化技術検討会議、技術研修会の開催 ○直播向け品種（えみまる）の栽培技術指導 | — | 北海道 | 348 (348) |
| 合 計 | | | | 3,254 (3,254) |

3 事業実施期間

令和3年度（2021年度）～

担当：農政部生産振興局農産振興課
(内線 27-724)

米粉利用拡大対策推進事業費（新規）

| | | | |
|-------|-------------|---|-----|
| 予 算 額 | 4,500千円（前年度 | — | 千円） |
| うち道費 | 4,500千円（前年度 | — | 千円） |

1 事業の目的

主食用米の消費量が減少する中、水稻生産力の維持・確保に向け、新たな用途への使用や輸入小麦からの原料代替が期待されている米粉の利用拡大を図るため、消費者や実需者に向けたPRイベントを開催する。

2 事業の内容

（単位：千円）

| 区 分 | 事 業 内 容 | 補助率等 | 事業実施主体 | 予 算 額 |
|--------------|--------------------------|------|--------|------------------|
| 米粉フェア の開催 | ○実需者向け講演会 ○消費者向け料理教室等 | — | 北海道 | 4,500 (4,500) |
| 合 計 | | | | 4,500 (4,500) |

3 事業実施期間

令和5年度（2023年度）

担当：農政部生産振興局農産振興課
（内線 27-724）